

東京エレクトロンのCSR

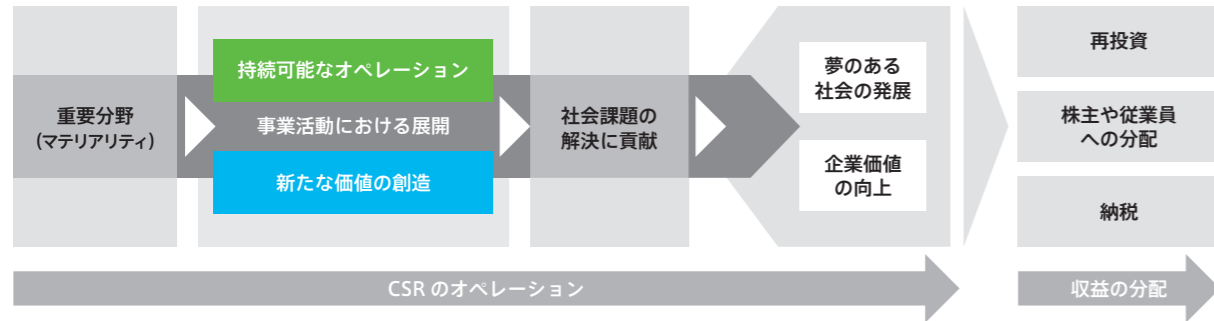
東京エレクトロンの基本理念

最先端の技術と確かなサービスで、
夢のある社会の発展に貢献します



CSR方針

東京エレクトロン (TEL) のCSRは基本理念を実現する取り組みです。TELでは、企業統治や法令遵守、倫理などの観点から持続可能なオペレーションを追求するとともに、製品やサービスの提供による新たな価値の創造により、社会課題の解決に貢献すべくCSR活動を展開しています。これからもCSR活動を通してステークホルダーの皆さまとの信頼関係の構築に努め、企業価値を向上させることで、持続可能な夢のある社会の発展に貢献します。



CSR推進体制

TELでは、中長期的な企業価値向上の観点から事業戦略との統合を図り、サステナビリティマネジメントを展開しています。CSRの活動を推進するために、以下の3つの会議体を設けており、CSRに関する最高意思決定機関であるCSR定例会議では、グループ全体の方針や重要案件についての討議をおこないます。それに基づき、CSRグローバル会議においては、CSR目標達成のための活動の進捗管理やグローバルプロジェクトの推進について話し合う他、ベストプラクティスを共有します。CSR月次連絡会では、各部署の担当者と活動に関する情報を共有し、横断的なテーマに取り組むための連携体制を構築しています。

また、CSR方針や目標を理解し、CSRの推進を取りまとめる責任者を全社の各部署において任命することにより、さらなる体制の強化を図っています。



CSRグローバル会議

会議名称	参加メンバー	会議内容	開催頻度
CSR定例会議	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会長 代表取締役社長・CEO 取締役および本部長 	<ul style="list-style-type: none"> 全社CSR方針の決定 重要案件についての話し合い 	年2回
CSRグローバル会議	<ul style="list-style-type: none"> CSR推進担当取締役 関連部門長 関連会社・海外現地法人CSR責任者 	<ul style="list-style-type: none"> CSR目標達成のための活動の進捗管理 グローバルプロジェクトの推進 ベストプラクティスの共有 	年2回
CSR月次連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 各部署CSR担当者 	<ul style="list-style-type: none"> CSR活動内容の共有 横断的テーマの取り組み 	月1回

加えて、年に一度、世界中の従業員に「仕事の中のCSR」事例の募集をおこない、優れた取り組みについては代表取締役社長・CEOよりCSR推進賞を授与しています。グループ全体で産業や社会課題の解決・発展へ寄与し、SDGs達成へ貢献するために、日々の業務を通じたCSR活動を推進しています。



CSR推進賞授与式

国際的なイニシアティブへの参画

TELは、CSRの国際的な推進機関である国連グローバル・コンパクトやResponsible Business Alliance (RBA)*1)のメンバー企業として、グローバルな視野からサステナブルな経営基盤の構築に努めています。

国連グローバル・コンパクト

- “健全なグローバル化” “持続可能な社会” の国際的な取り組み
- 2013年に署名



10原則

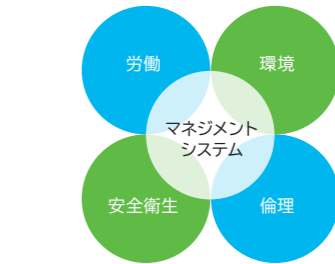
- 人権**
 - 原則1 人権擁護の支持と尊重
 - 原則2 人権侵害への非加担
- 労働**
 - 原則3 結社の自由と団体交渉権の承認
 - 原則4 強制労働の排除
 - 原則5 児童労働の実効的な廃止
 - 原則6 雇用と職業の差別撤廃
- 環境**
 - 原則7 環境問題の予防的アプローチ
 - 原則8 環境に対する責任のイニシアティブ
 - 原則9 環境にやさしい技術の開発と普及
- 腐敗防止**
 - 原則10 強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み

RBA

- エレクトロニクス業界を中心としたCSR推進団体
- 2015年に参加



フレームワーク (5つのセクション)



またTask Force on Climate-related Financial Disclosures (TCFD)*2)の提言に賛同を表明し、気候変動が事業におよぼす影響や機会についてガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標のフレームワークに基づき取り組みを進めています。



外部からの評価

TELのCSR活動は世界各国の評価機関より高い評価を得ており、「DJSI*3 Asia Pacific 2019」、「FTSE4Good Index*4」、「FTSE Blossom Japan Index*5」、「MSCI World ESG Leaders Indexes*6」、「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数*7」、「MSCI 日本株女性活躍指数*8」など、世界の代表的なESG投資インデックスの投資銘柄に選定されています。



SDGs (持続可能な開発目標) に対する取り組み

SDGsは、2015年の「国連の持続可能な開発サミット」にて全会一致で採択された2030年までの世界共通の目標です。TELでは、事業を通じて取り組むSDGsのゴールを、CSR年度目標や中期目標、およびマテリアリティ(重要分野)ごとに明確にし、TELグループ全体に展開しています。



東京エレクトロンはSDGsを支援しています。

*1 RBA: 2017年10月にElectronic Industry Citizenship Coalition (EICC)より改名

*2 TCFD: 気候変動関連財務情報開示タスクフォース

*3 DJSI: Dow Jones Sustainability Indices。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社によるESG(環境、社会、ガバナンス)投資インデックス。DJSI Asia Pacificはアジア太平洋地域が対象

*4 FTSE4Good Index: FTSE社が開発した、環境や企業の社会的責任に関するインデックス

*5 FTSE Blossom Japan Index: ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックス

*6 MSCI World ESG Leaders Indexes: MSCI(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル)社が作成しているESG投資インデックスであるMSCI Global Sustainability IndexのうちESGに優れた企業が選定される

*7 MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数: 親指数(MSCIジャパンIMIトップ700指数: 時価総額上位700銘柄)構成銘柄の中から、親指数における各GICS®業種分類の時価総額50%を目標に、ESG評価に優れた企業を選別して構築される指数

*8 MSCI日本株女性活躍指数: MSCI社が開発した指数で、親指数(MSCIジャパンIMIトップ700指数)構成銘柄から、性別多様性に優れた企業が対象に選出される

*9 使用ロゴの説明については下記URLリンクをご覧ください
www.tel.co.jp/csr/review/